

重点分野の設定について

1. 重点分野の考え方について

- ・総合計画は市のあらゆる政策を体系的にまとめた計画ですが、限られた人員や財源の中で、対応する必要があります。このため、第 3 次山武市総合計画では、政策体系の基本事業単位に重点分野として設定し、優先的に取り組む内容としています。
- ・重点分野は、人口増加につながる新規性や独自性を持った「成長戦略」と、高齢化や人口減少に対応したまちづくりとなる「人口減少対策」に分けて、基本事業単位で設定を行います。
- ・重点分野として設定した基本事業は、①成果指標に対して高い目標設定、②実施計画への事業掲載、③重点的な予算確保等の措置を行い、積極的な成果向上を目指すこととします。

2. 重点分野（案）・・・全 20 事業

成長戦略（短期）・・・6 事業

- ・（通番：4）まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用
- ・（通番：6）強靱化対策の推進
- ・（通番：8）担い手の育成・支援
- ・（通番：9）森林再生の推進
- ・（通番：18）医療体制の充実
- ・（通番：23）教育環境の整備

計画期間内に成果創出
や先進的な取組を推進
するもの

成長戦略（長期）・・・10 事業

- ・（通番：3）駅周辺の利便性の向上
- ・（通番：7）地域脱炭素化の推進
- ・（通番：10）経営体の体質強化・育成と市内消費の推進
- ・（通番：11）工業の振興
- ・（通番：12）成田空港経済圏の形成
- ・（通番：13）魅力ある観光事業の推進
- ・（通番：20）次世代育成による家族形成の支援
- ・（通番：26）健全な財政運営
- ・（通番：27）公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進
- ・（通番：28）自治体DXの推進と市民サービスの向上

中長期（4～10 年間）
での成果創出をめざし
て、計画期間内に着手
するもの

人口減少対策・・・3 事業

- ・（通番：5）市内における交通手段の確保
- ・（通番：15）介護予防の推進
- ・（通番：16）心身の健康管理の充実
- ・（通番：25）市の魅力発信の強化

持続的なまちづくりの
ために、集中的な取組
を行うもの